平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅢ (Seminar Ⅲ) 【永松ゼミ】			授業コード	E002631
担当教員名	永松　昌樹			科目ナンバリングコード	E31203
配当学年	3	開講期	通年		
必修・選択区分	必修	単位数	4		
履修上の注意または履修条件	スポーツ・レクリエーション事業提供者側の視点から、大分県の現状から社会的な問題点を見出し、課題解決に積極的な取り組みに参画することに取り組む姿勢を有する受講者。				
受講心得	経営学部の講義受講心得を順守すること。				
教科書	使用しない。				
参考文献及び指定図書	池田勝著「生涯スポーツの社会経済学」(杏林書院)・守能信次著「スポーツ・ルールの論理」(大修館書店)・池田勝／守能信次編「スポーツの経済学」(杏林書院)・池田勝／守能信次編「スポーツの社会学」(杏林書院)				
関連科目	生涯スポーツ論、生涯スポーツ演習、スポーツマーケティング、スポーツ社会学				

授業の目的	学生自身の4年間の大学生活において、「社会人としてどこでも通用する人になる」ための自己実現に向け、スポーツ・レクリエーション研究を通じて視野を拡大させることを最終到達目標としたいと考えています。
授業の概要	毎回担当者を決め、学士論文作成の進捗状況についてプレゼンテーションをしてもらい、ディスカッションを行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーション ゼミの進め方について意見交換します。	シラバス確認 シラバス予読・履修確認
第 2 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 3 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 4 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 5 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 6 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 7 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 8 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション	

各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第 9 週 ： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第10週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第11週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第12週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第13週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第14週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第15週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第16週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第17週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第18週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第19週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第20週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第21週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第22週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第23週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション	

各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第24週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第25週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第26週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第27週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第28週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第29週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第30週： 各自の卒論テーマをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定した題目に対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成を目指します。	各自の卒業論文作成
第31週： ゼミナールⅢのまとめ 卒業論文を完成させ、次年度の卒業研究発表会の準備を整えます。	各自の卒業論文完成

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	生涯スポーツ社会における地域で起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を獲得する。
【知識・理解】	スポーツやレクリエーションを活用した地域の活性化に必要なこと、マーケティングの知識を獲得する。
【技能・表現・コミュニケーション】	調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を獲得する。
【思考・判断・創造】	地域の活性化という難しい課題を、斬新な切り口で考え、新しいアイデアの創出力を獲得する。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**10点**
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		**10点**	**20点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**10点**	**10点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		**20点**	**10点**

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	プレゼンテーション実施のために作成する卒業（学士）論文の内容により加点します。
発表・その他（無形成果）	プレゼンテーション実施のなかで、その内容や質疑応答をし、その解答に対して優れた学生には加点します。